

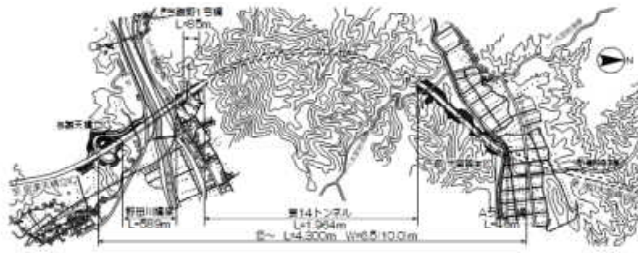
## 再評価結果（平成27年度事業継続箇所）

担 当 課：国道防災課

担当課長名：川崎 茂信

事業名	地域高規格道路 鳥取豊岡宮津自動車道 一般国道312号 野田川大宮道路	事業区分	一般国道	事業主体	京都府
起終点	自：京都府宮津市須津 至：京都府京丹後市大宮町森本			延長	4.3km
事業概要	鳥取豊岡宮津自動車道は、鳥取県鳥取市から兵庫県豊岡市を経て京都府宮津市に至る延長約120kmの地域高規格道路。野田川大宮道路は、京都縦貫自動車道と一体となって、丹後地域と府南部地域を結び、地域の社会経済や観光を支援する重要な路線。				
H17年度事業化	H11年度都市計画決定 (H26年度都市計画変更)	H21年度用地着手	H21年度工事着手		
全体事業費	約177億円	事業進捗率	約82%	供用済延長	km
計画交通量	8,900台/日				
費用対効果 分析結果	B / C (事業全体) 3.5  (残事業) 10.5	総費用 (残事業)/(事業全体) 75/225 億円  (事業費：28/178 億円) 維持管理費：47/47 億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 787/787億円  (走行時間短縮便益：603/603 億円) 走行経費減少便益：145/145 億円 交通事故減少便益：40/40 億円	基準年	平成27年
感度分析の結果	(残事業) 交通量 : B/C= 9.4~11.5 (交通量 ±10%) 事業費 : B/C=10.1~10.9 (事業費 ±10%) 事業期間 : B/C=10.5~10.5 (事業期間±20%)				
事業の効果等	<p>地域経済への効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥取豊岡宮津自動車道を含め、他高速道路と結合することにより、関西都市圏との連携を強化する。</li> <li>・天橋立や城崎温泉、鳥取砂丘など点在する観光資源の周遊性を高め、新たな観光需要を喚起する。</li> <li>・日本海側拠点港に選定された京都舞鶴港の利便性に寄与し、については地域経済産業の活性化となる。</li> </ul> <p>安心・安全の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の緊急車両の通行や物資の輸送に活用され、地域の救援・復旧が速やかで確実に出来るようになる。</li> <li>・屈曲した急勾配の現道をバイパスにすることにより、通行車両の安全性向上と、現道を通る歩行者の安全性を確保する。</li> </ul>				
関係する地方公共団体等の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画決定の手続きにおいて、周辺住民と合意形成を図っている。</li> <li>・丹後・地域高規格道路推進協議会(会員：舞鶴市以北各首長等)から要望</li> </ul>				
事業評価監視委員会の意見	事業継続を妥当と認める				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<p>京都縦貫自動車道の全線開通</p> <p>都市計画決定の変更</p>				
事業の進捗状況、残事業の内容等	用地取得率約100%、事業進捗率約82%				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	大規模構造物が概成しており、平成28年度供用に向けて工事の進捗を図る。				
施設の構造や工法の変更等	トンネル掘削の発生土を盛土材として有効活用。処分地を工事近隣地に確保し運搬費の削減。				
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。				

## 事業概要図



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。  
総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。